

事業効果

JR東海道線支線地下化事業は、うめきた2期区域のまちづくりの基盤となるもので、うめきた地区の西端地上を南北に走行している現在線を地区の中央部に移設・地下化することにより、踏切の除却や、現在、高さ制限のある鉄道と道路との交差部分の解消を図り、踏切事故や渋滞が解消され、道路を安全に通行できるようになるとともに、鉄道で分断されたまちが一体的に利用できるようになります。

また、新駅設置事業により、うめきた地区と関西国際空港間のアクセスの向上を図り、国際競争力を有する地域の形成をめざします。

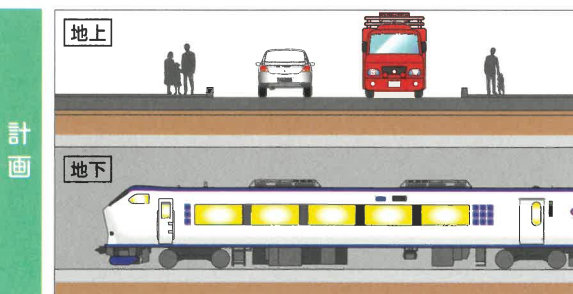
交通の円滑化

幹線道路から踏切を除去することにより踏切事故の解消や、交通の円滑化が期待できます。



くらしの安心

平面道路化による高さ制限が解消され、緊急車両の通行が可能になり、まちの安全性が向上します。



国際競争力の強化

うめきた地区と関西国際空港間のアクセスが向上し、国際競争力の強化が図られます。

